

1人1台端末の活用による実践事例

| | | | |
|-----------------------|-------------------------------|-----|-----------|
| 学校名 | 岡山県立津山高等学校 | | |
| 実践者等 | 草加 翔一 | 実践日 | 令和3年6月15日 |
| 実践場面 (教科・科目、学校行事等) | 英語表現 I | | |
| 対象生徒 (学年等) | 普通科1年次 | | |
| 単元名 (教科・科目の場合のみ) | 英作文 | | |
| 使用したアプリ等 | Classroom、Jamboard | | |
| 実践の概要 (ねらい等) | Jamboard を使って、英作文の添削を全体で確認する。 | | |

実践の内容

授業では、1時間で1パートずつ学習を進めるが、予習を前提に暗唱例文は小テストで終えて、テキストにはない自由英作文(75語程度)や発展プリントを Classroom に適宜挿入していく。

生徒が発展プリントに取り組んでいる間に、生徒の英作文を添削し、最後に黒板代わりに Jamboard を使って確認する。



【朱書添削した生徒の英作文を Jamboard で確認】

【授業展開】

- (1) 小テスト、自由英作文の読み上げ、確認
- (2) ExerciseABC の解答をペアで確認
- (3) 発展プリントに取り組む、解答
※教師は Jamboard を添削中
- (4) ExerciseD を Jamboard を使って解説
- (5) 次回予習・学習ポイント確認、音読

【授業者の感想】

- ◎板書代わりに Jamboard をスクリーンに投影しているが、生徒個人の Chromebook で手元でも確認できるので教室後方の生徒にとっても見やすい。
- ◎板書と違って、消さずにクラウド上に保存することできるので、授業後も生徒が確認できる。
- 今後スプレッドシートで生徒の感想を集計する予定である。

参考となる HP 等